

2014年度第3回北陸公法判例研究会開催のご案内

北陸公法判例研究会会員の皆様

初秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、下記の日程で、本年度3回目となります、第3回北陸公法判例研究会を開催致します。万障お繰り合わせのうえ、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日時：10月4日（土）午後1時30分から

（今回は土曜日の開催とさせていただきますのでご注意ください）

場所：金沢大学サテライトプラザ2階講義室

（アクセスは http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/satellite/ を参照ください。

いつもの石川四高記念文化交流館ではありませんのでご注意ください）

—報告内容—

【判例研究】 田口宗右都（金沢大学大学院）

タイトル：「連結納税制度における“節税の利益”の性質と帰属」

参考文献：酒井貴子「連結納税制度における税負担の内部割振りと少数株主の問題—アメリカ法を参考に」税務弘報57巻10号89頁

【研究報告】西門純平（金沢大学大学院）

タイトル：「国際法における難民概念の分析—迫害の主体論を素材にして」

参考判例：山本哲史「判批」国際人権 18号（2007年）126-127頁

阿部浩己「判批」ジュリスト臨時増刊（平成19年度重要判例解説）1354号（2008年）313-314頁

連絡先：鵜澤剛（金沢大学）076-264-5381 takeuzw@staff.kanazawa-u.ac.jp